

浮穴地区タウンミーティング(要約)

平成26年7月27日(日曜日)

【市長】 皆さんこんにちは。今日は日曜日の午後でございます。皆さんそれぞれに予定があったのではないかと思うのですが、このように大勢の方がご参加をいただきまして本当にありがとうございます。

このタウンミーティングの開催にあたりましては、浮穴地区連絡協議会の会長をはじめ、役員の方々の皆さんのお力添えいただきました。本当にありがとうございます。この浮穴地区でのタウンミーティングは2回目になります。私が市長に就任をさせていただいてから、このタウンミーティングが始まりました。どっちが楽かという話をすると、皆さんが市役所に来られるのを待っていたほうが楽です。しかし、果たしてそれでいいのでしょうか。松山市には旧松山市・旧北条市・旧中島町、合わせて41地区ありますけれども、その地区ごとに課題がありますし、お困りの点もあると思いますし、逆に魅力もあると思います。そういったものを我々から出向いて行って、そして教えていただく。そして、できることからできるだけ早く解決をしていく、また、魅力を生かしたまちづくりをしていくということでタウンミーティングを始めさせていただきました。この松山市版のタウンミーティングは、聞きっぱなし、やりっぱなしにはいたしません。この場でできるだけお答えをして帰ります。また、例えば国と関係する案件や県と関係する案件、財政的な問題があるものはいいかげんな答えをして帰るわけにはいかないので、いったん持ち帰らせていただいて、1カ月を目処に必ず地区にお返事をするのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。聞きっぱなし、やりっぱなしにすると楽ですがけれども、ガス抜きではない、またパフォーマンスではないのが、このタウンミーティングの特徴でございます。今日は見ていただいたらおわかりのように、小学生の皆さん、中学生の皆さんも来られております。90分間という時間ですので、肩ひじ張って緊張されていると疲れてくると思いますので、あまり肩ひじ張らない、緊張なさらなくて、ざっくばらんな90分意見交換ができればと思います。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【男性】 こんにちは。南高井町内会です。南高井町にある浮穴保育園の耐震対策についてお聞きしたいのですが、建物自体が建てられたのが昭和40年代の半ばと私は認識しているのですが、現在、天井の一部が雨漏りをしており、壁のところがひび割れ等が見られるんです。新しく建て替えてもらうのが1番いいと思うんですが、耐震対策を早急をお願いしたいと思っています。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課長の西市です。どうもご質問ありがとうございます。浮穴保育園の雨漏りと耐震化対策についてお答えさせていただいたらと思いますので、よろしく申し上げます。松山市の保育園の修繕や改修については、各保育園から市の保育・幼稚園課に依頼をかけていただいて、修繕対策を行っているのが現状でございます。ご質問のありました浮穴保育園の雨漏りについては、すでに6月に修繕が終了している状況になっております。ただし、耐震化が必要な施設ではあります。昭和46年3月にこの施設は建設されまして、構造がコンクリートブロック造の園舎が一部ございます。それと平成12年の8月に増築された軽量鉄骨造の施設があるんですが、新耐震基準で建設されていますので、耐震性はございます。ただし、昭和46年の当初の建物が耐震基準に当てはまらない。昭和57年に新しく耐震基準が改正されました。その基準以前に建てた建物について、確実に耐震性能を満たすためには、園舎を建て替える方法しかないのではないかと考えております。建て替えによる耐震化は多額の費用が必要になってまいりますので、今後、国とかに補助金を受けてやっていくかを、現在計画をしている最中ですので、また今後の推移については市からお知らせをしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【市長】 まず、端的に申し上げますと雨漏りは対応をさせていただいておりますのでご安心をいただけたらと思います。そして耐震化ですが、これは昔からしっかりと耐震基準ができていて、そしてそれに見合った建物ばかりができていればよかったですけれども、阪神大震災とか東日本大震災を受けて耐震基準も昔に比べると変わってきています。昔の建物だったらちょっと危ないなというところがあります。今、松山市は計画的に小学校と中学校は子どもたちが長く過ごす場所ですから、そこが耐震化されていないといけませんので、小学校・中学校の耐震化を急ぐ。私が就任したときには平成32年の耐震化完了予定だったんですけれども、まさに有効な公共工事であるので思い切って前倒しをしようとして平成32年完成予定を平成28年までに完了するように4年思い切って前倒しをしました。あと、いざ地震が起こった際に活動をしようと思っても、消防団のポンプ蔵置所が崩れてしまえば活動ができません。ですので、まだ耐震化ができていなかった消防団のポンプ蔵置所も新しい耐震基準の25パーセント増しで、しっかりとした建物をつくるべくやっております。また、避難場所になる体育館も耐震化ができていないといけませんので耐震化を進める。また、皆さんが大きな地震を受けて上水道や下水道も耐震化ができていないと、元の生活に戻るのが難しいので上水道や下水道の耐震化もし

ないといけません。また、市の道路や橋なども崩れてしまうといけませんので、こういったところにもお金がかかる場所です。そういった中で財政はどうかというと、北海道の夕張市は経営破たんをしてしまいましたけれども、松山市がたちまち経営破たんをするようなことはありません。でも、俯瞰で見させていただくと松山市も財政は油断ができない状況です。そういった中ですから、とにかく何をやるにしても計画を立ててやっているのが現状でございます。今、国においては1千兆円の借金があります。仕送りと同じです。国から地方には地方交付税交付金とか国庫支出金というかたちで国から地方にお金が回ってくるんですが、大もとが苦しかったら地方に回ってくるお金が増えるとはとても考えにくいんです。例えば公がものを建てたとしたら、維持管理をしていくのは次の世代になるんです。建物を建てると大体30年ぐらいになると手を入れなきゃいけないですけども、今日来ていただいている中学生の皆さんが15歳だとすると、30年後だと45歳ぐらいです。まさに皆さんの世代が維持管理を見ていかなければならないことになりますので、やはり将来の世代にツケを残さないように計画を立ててやっていかなければならない。私も高齢になっていきますけれども、高齢になるとどちらかというとお世話になるケースが増えてくる。今、日本全体では少子。子どもが少ない。「私は税金を払いたくてたまらん。」という人はまずいないと思いますけれども、やはり皆さんから税金をいただくことでやれる事業があります。子どもの数が少ないということは将来働いて税金を納めてくれる方の数が少なくなることでありますので、計画を立ててやっているのが現状でございます。財政の話をするると皆さんの手が挙がりにくくなるんですが、皆さんの声をいただいて行政をやっていくのが大事なので、遠慮なく手を挙げていただいたらと思います。

【男性】 先ほど話も出ていたんですが、高井の上沖に集会所がないんです。これを計画に入れていただいて、何年後か早い期間でつくってほしいと思っているんです。集会所は本村に1つあるんですけど、それだけでは子供会や老人会、婦人会などが重なると日にちをずらしています。上沖にも集会所をつくる計画をできればお願いしたいということです。

【生涯学習政策課長】 教育委員会生涯学習政策課の津田でございます。ご質問ありがとうございます。まず原則としてお話をさせていただきますが、公民館分館の設置要望はこちらの浮穴に限らず、公民館は本館があるんですけども、本館の館長名で教育委員会へ申請していただくことになっております。その際に必要となりますのが地元のご要望がかなりあるということと、その状況でございます。こういった状況が1つの目安になる

かといいますと、あくまで1つの目安と認識していただければと思うんですけれども、大体1,000戸以上ある地域においては350平米ぐらいまでの建物が可能になるかとは思いますが。あと土地を各地元で確保していただくかたちになります。上物の建物につきましては4分の1である25パーセントを地元の方に負担していただきまして、残りを松山市で補うというかたちになっております。市としては、まず公民館本館の耐震化工事を今のところ最優先にさせてもらっている現状でございます。その次に本館の建物の3階建て以上のエレベーター等の設置工事をその後を考えておりますので、分館についてはその後になるかと思っておりますので、その部分だけご理解いただければと思います。よろしくお願いたします。

【市長】 私から補足で。公民館本館と公民館分館があるんです。公民館本館がこの浮穴公民館のように41地区にあります。それは市で建てさせていただいて補修も市役所でさせていただく。そして公民館分館は旧北条、旧中島を合わせて全部で334あります。費用はどうなっていますか。

【生涯学習政策課長】 基本的には集会所の相当する地区単位で全てご用意させていただいております。修繕等の必要な部分がありましたら、予算との関係にもなるんですけれども、申請をいただいた段階で地元にも25パーセントを用意していただきまして、残りを市で助成するかたちになっております。

【市長】 なぜ、教育委員会がお話をさせていただいたかということ、教育委員会は大きく分けて学校教育と社会教育を担っています。小学校や中学校の学校教育を統括しているのが教育委員会で、公民館は社会教育で、人生の先輩方が集っていろいろな教室をしたりするのが社会教育になります。私としては、公民館は社会教育のコミュニティの場としてすごく大事なところだと思っています。今、ルールとしてご紹介させていただいたけれども、色んなかたちで知恵と工夫でコミュニティの場所を大事にしたいと思っておりますので、やり方がないかいろいろと庁内でも検討しているところです。現状としてはそういうところですのでご理解いただいたらと思います。

【男性】 先ほど前回のところで松原泉という言葉が何回か出てきたかと思うんですが、私は浮穴ホテルの会というところで活動をしておりまして、浮穴小学校の5年生たちとホテルを育てる活動をしております。松原泉は平成16年ごろから取り組みまして一応の成果を見ているんですが、せっかく培ってきたノウハウなので浮穴地区のほかの公園とかで、専用の水路でないと生活排水が入りますとホテルは育たないものですから、公園の中でできれば簡単な専用の水路をつくっていただいて、そこにホテルを放流

して育てていく活動をしていきたいと思っておりますので、予算的にいろいろ難しいとは思いますが、ご検討いただいたらと思いますのでよろしくをお願いいたします。

【都市政策課長】 都市政策課の川口です。よろしくをお願いいたします。ご意見ありがとうございます。貴重なご意見と感じました。この浮穴地区にはきれいな杖ノ淵公園とか三島公園がございます。松原泉の活動は大臣表彰を受けられたと聞いておりますので、地域で広めていただければと思いますので、早速持ち帰りまして担当部署と協議をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。

【市長】 2日前に高松の国土交通省に行っていました。なぜ高松の国土交通省に行っていたかということ、周辺の市町の方々と一緒に行ったんですが、外環状道路は国と県と市の3者合同でやっているんです。例えば国が「もうお金ないです。ちょっとスピードを遅くさせてください。」と言われると困るわけです。ですから外環状線に費用をしっかりとつけてくださいとお願いをするために。そしてJR松山駅の周辺整備事業も県と市が共同でやっているんですけれども、これも国に協力してくださいと。そして重信川や石手川の護岸の治水、昔からの霞堤というのがありまして、そこも住宅が増えてきて心配なところもあるので、高松の国土交通省に行きました。そこで、局長とか幹部の方が5～6名いらっしゃるんですけれども、松原泉の話をするとうニコッとされるんです。国土交通省の方も松原泉は誇りなんです。国の人もいい事業ができたと感じていらっしゃるようです。今年の6月にはホテル祭りが開かれたと伺っておりますので、私も松原泉は本当に好きなところでいい場所だと思います。先ほどコミュニティの話をしましたけれども、そういうホテル祭りをすると若いお子さんたちとおじいちゃん・おばあちゃんが集まって、今まで話をしたことなかったけど話をしてつながりにもなりますし、この浮穴にはまだホテルが飛ぶんだなと感じてもらったら、地元への愛着にもなり誇りにもなります、非常にいい事業だと思いますので、我々もそういうのをやっていきたいと思っておりますので、いったん持ち帰らせていただいたらと思います。

【小学生】 浮穴小学校6年生です。公園はどこもトイレがすごく汚いのできれいにしてほしいという願いがあります。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございます。公園のトイレは地元の公園管理協力会という方々が中心になって定期的に掃除をしていただいております。私の知る限りでは皆さん非常に熱心に掃除していただいております、トイレ自体あまり汚いと感じたことないのですけれども、それは古くて汚いとかそういうことですか。

【小学生】 虫や、トイレットペーパーの芯が放置されていたり、そういうのがあって少し汚いなと思いました。

【市長】 帰りに見て帰りましょう。どこの公園かな。

【小学生】 三島とか本村公園とか。

【市長】 いくつもあるんですね。わかりました。

【都市政策課長】 わかりました。帰りに点検して帰ります。ありがとうございます。

【市長】 マナーという話をすると、昔は公園にはごみ箱が設置されていたと思うんですが、今、公園にはごみ箱が少なくなっています。なぜかという、家のごみを公園のごみ箱に入れにくる方がいらっしゃるんです。そういったことから公園のごみ箱はどちらかというところと置かない方向でやっております。これもモラルですけれども公園にトイレットペーパーを配置しておく、トイレットペーパーを持って帰る方がいらっしゃるんです。公がやっているとなかなか難しいところがあります。今日もホテル祭りの話が出ていますけれども、やっぱり公だけだとやれることは限られるんです。例えば曼珠沙華ロードを歩く。歩くと健康につながります。俳句を詠んでいただくと文化にもつながっていきます。浮穴ではそういった活動を長年されておられますけれども、地元の方々が動いていただくと、公だけだとやれること限られるのが車の両輪で連携してできることがものすごく増えるんです。ですから地元の方々が動いてくださっているのは、非常にありがたいと思います。昔だとこれは公がやるんだみたいな感じだったんですけど、今は世の中の雰囲気が変わってきて、地区で一緒にやると地区の魅力がなお生かされるんだということで動いていただけているのは大変ありがたいですし、地域が一体になってチーム松山で同じ目標に向かって進むとよりよいまちづくりができるんじゃないかなと思います。よろしくをお願いします。

【男性】 ご存知のようにこの浮穴地区は高井町の上沖から下の井門町の新開まで東西 8 キロメートルと細長い地域で構成されている小さな村だったんですけれども、昭和 34 年に合併して現在松山市の一員としてやっているわけです。私が高校時代は森松線という伊予鉄があったんですけれども、当時の伊予鉄の経営者がこれからはバスの時代だということで路線廃止をした。それはそれで線路がなくなったおかげで発展した面も多いにあるんですけれども、現在は伊予鉄さんも交通事業では儲からないといいますか、路線の便数を減らしている。これも悪循環で減らせば減らすほどお客さんの数が減ってくるわけです。その中で隣の北高井、元の久米の高井町のループバスが 100 円バスという循環バスで成功とまではいかな

いまでも、何とか採算が成り立っている状態。私が住んでおります南高井町も結構広いですが、延伸していただいて、今、お年寄りや買い物に行くにしても病院に行くにしても以前でしたら息子の嫁に頼んでということもありましたが、現在はこういう時代ですから息子の奥さんも働いている状況の中でそれはできないと。タクシーをいつも使うわけにもいきませんので不自由をしている。ですから私も地元要望ということで伊予鉄本社に2度、時間をおいて陳情に上がりました。伊予鉄さんは自動車部と鉄道部と2つに分かれています。鉄道部は横河原線・高浜線・郡中線、ループバスの関係もあって黒字ですが、バスは完全に赤字です。そんな中で路線を新たにつくる、延長するということになりましたら、まずは行政が補助をしてくれたらとか、助成金を出してくれたらやってもいいよという態度です。はっきり申しましてやる気がない。先ほど市長は松山市の財政のことを言われましたが、松山市ぐらいの全国の県庁所在地で市立の病院もない、市立高校もない、また交通事業もやっていないと、その3つともやっていないのは私の知る限りは大分県の大分市と愛媛県の松山市だけ。ほかの市は、愛媛県をみても今治であろうと宇和島であろうと八幡浜であろうと市立病院を持って苦労しています。ですから松山市は財政が豊かなといえますか、財政運営をするのはやさしいはずですが、ただ、最近では伊予鉄さんの公共交通1社という中で、ラッピング電車からラッピングバスにかなり松山市が協力していると思えますが、市として陸の孤島になりつつある南高井町、また井門町においてもそうだと思うんですけれども、その解消のためにどういう施策をこれから講じていただけるのかをお聞かせ願いたいと思います。

【市長】 私からお答えいたします。今、お話をいただきましたけれども、タウンミーティングを41地区と2巡目が32地区終わりましたので、延べで73地区を回らせていただきましたけれども、松山市全体で見ると、松山の石手川ダム上流あたりの道後から奥といいたいでしょうか、この地区でバス路線をどう維持していくか、そして北条でのバス路線をどう維持していくかというのがこれまで出た意見として特徴的なものです。これはただ伊予鉄さん任せではなくて、やっていることがありまして、地元の方と伊予鉄さんと私ども市役所の3者で会をつくって「伊予鉄さん、もうちょっとこの時間帯にバス持って来てくれたら便利がいいです。」と、そういう3者での協議会をつくって各地区でやっているところがあります。おっしゃったように昔だったらお嫁さんに運んでいってと言えたかもしれないですけれども、今は共働きの方も多いたと思いますので、なかなか難しいところもあらうかと思えます。我々にとっても公共交通の足をどう維持して

いくつかは課題ですので、まずはいったんは持ち帰らせていただいて1カ月後に回答させていただいたらと思います。我々にとっても公共交通は大事なところですし、高齢化の中、いかに維持していくかを伊予鉄さんとさまざま協議しながらやっていきたいと思います。

【男性】 井門町に内川という川があります。以前、内川の底をさらってもらったんですが、私は消防団に入っているんですけど、台風が来るたびに毎回出ていました。それで何回言ってもさらってくれなかった。避難勧告が出て初めて動いてくれました。言いたいのはさらってくれてから消防団で待機はありますけど、出ることはなくなって、水等の安全性もある程度は保たれている。今後、川の流れなので土とか溜まっていったり石が溜まっていたりする場所の点検・整備等の見直しとか、定期的にどうしていつてくれるかを協議してもらいたいと思います。

【下水道政策課長】 ご質問ありがとうございます。内川は県の管理になると思いますが、川底をさらってからよくなったということですので、今後も維持管理については県にもお願いしながら続けていきたいと思うんですけども、具体的に特に今すぐ困っているということがございましたら、県にお伝えすることもできます。

【男性】 今は特に困っていることはないです。ただ、今の時代よくゲリラ豪雨で色んなところで水の災害等が起こっていますよね。今後のことも考えて、ここらあたりに溜まりやすいとか、井門だけじゃないですよ、高井のほうも切れても井門のほうにも水が来る。そういう点で全ての川において掃除してほしいとか定期的なこと、家が水に浸かってからでは遅いということですよ。

【下水道政策課長】 わかりました。普段の維持管理を徹底してほしいとお伝えしたいと思います。ありがとうございました。

【市長】 今、川の話がありまして、川も国が管理している河川と県が管理している河川がありますけれども、皆さんわかりませんよね。道も国道と県道と市道があります。「しどう」も市道と私道があります。わかりませんよね。遠慮なく市役所に皆さん言ってください。といいますのが、市と市民の皆さんとの距離が1番近いですよ。市民の皆さんと県との距離はちょっと遠くなりますね。市民の皆さんと国の距離はもっと遠くなりますね。遠慮なく市役所に言ってください。敷居を高くなさらずに遠慮なく言っていただいたらと思います。それは県のことですから私たち知りませんとは言いません。県のことでしたら県に必ず伝えます。前回のタウミーティングでも意見対応表で申し上げましたけれども、県の道路であっても私たちが言うことによって県が改良してくれる例も先ほどご紹介した

かと思います。ですので、皆さん遠慮なく市に電話をかけてもらったらと思います。何課かわからないですよ。松山市の代表電話にかけてもらったら、電話を回しますので遠慮なく言っていただいたらと思います。「こういうやり方はできんやろか」と相談していただいたら、「そのやり方はできないですけども、こういうやり方もできるんですよ」とお伝えすることもできます。市役所は分解すると3つの漢字になります。市民の皆さんの役に立つ所で市役所じゃなきゃいけないと思っていますので、どうぞ皆さん敷居を高くなさらずに遠慮なく言っていただいたらと思います。内川のことは必ず県に伝えておきます。

【小学生】 浮穴小学校6年ですが、浮穴校区には公園の数があまりないので公園の数を増やしてほしいです。あと、ボールで遊べる公園が少ないのでボールが使える公園を増やしてほしいなと思います。

【市長】 ボール遊びのできる公園について私からお答えをしますが、実は公園でのボール遊びは賛成と反対と2つの意見に分かれます。松山市役所は市長へのわがまちメールという直接市長にメールが届く制度がございますので、皆さんも遠慮なく言っていただけたらと思うんですが、実はある公園のすぐ隣に住んでいる女の子からメールが来ました。「市長さん、私は公園のすぐ横に住んでいるんですけども、ボールが入ってくるんです。家に当たるしボールが入ってくるのが嫌なんです。そして勝手にそのボールを取りに入りにくるんです。何とかしてくれませんか。」というメールが届きました。私は47才になるんですけども、私らの時代は空き地が多くて空き地で野球をして遊べたんです。でも、今は空き地も少なくなってきたので、公園には小さい赤ちゃんとかおじいちゃんおばあちゃんも来られるので、きちんとルールを守って遊んでもらわないとボール遊びはなかなか難しい現状があります。ただ、子どもたちがボール遊びできないのもあまりにもかわいそうなので、今、松山市ではボール遊びのできる公園を増やしています。平成18年から不思議と1年に1公園ずつになっているんですが、平成18年度には平井町の平井公園を、平成19年度には旧北条市の河野別府公園を、平成20年度には中野町の中野公園を、平成21年度には久万ノ台の久万ノ台緑地を、平成22年度には堀江の堀江中央公園を、平成23年度には小坂5丁目の福音公園を、平成24年度には白水台4丁目の白水台北公園を、平成25年度には古川西2丁目の古川公園をボール遊びのできる公園にしました。できれば増やしていきたいと思っています。具体的にボール遊びしたい公園名を教えてくださいましたら、我々から公園管理協力会という管理してくれている方々にもお話をさせていただいて、できればボール遊びのできる公園を増やしていきたいと思っています。

ます。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございます。浮穴地区の公園は杖ノ淵公園、三島公園、森松本村公園、明星公園、重信川緑地がごございます。特に重信川緑地は地元の公園管理協力会の方々が熱心に活動していただきまして、グラウンドに真砂土などを入れまして、ソフトボールとか色んなボール遊びもできる環境は整えておりますので、できましたらそちらをご利用いただけたらと思います。それと先ほどもう1つありました、新しく公園を整備してほしいということでございますけれども、現在、324の松山市が管理している公園がございまして、公園をつくるためには周辺の環境とか今ある公園との配置などの一定の基準を満たすとともに、財政的な面とか費用対効果などを総合的に判断してつくることとしております。公園をつくる場合にはどうしても広い用地の確保や整備に多額の費用がかかりますので、今すぐに新しい公園をつくることは財政的な問題もあり大変申しわけないんですけど難しい状態でございますので、先ほどご紹介した公園をご利用いただけたらと思います。お願いいたします。

【市長】 なかなかハードが難しかったらソフトでと思います。帰りにこの公園でボール遊びしたいんですと言ってもらったら動きますから、また言ってもらったらと思います。お願いします。

【女性】 前回は参加をさせていただきました。今年度の予算で児童クラブの増設の予算が下りたと思うんですけども、浮穴も児童クラブがあるんですが、小学校1年生から3年生まで児童クラブを使っていて、来年度4年生から6年生も児童クラブに入れると聞いたんですが、今現在の児童クラブの場所では多分狭いということで、浮穴小学校のグラウンドに増設をすると聞いております。ただ、その増設場所ですけども、バックネット裏の相撲場の隣にと聞いているんですが、狭い気がするので、できればもう少しいい場所がないかご検討いただけたらと思うんです。多分4～5年生になると下校も自分たちで帰れるようにはなると思うんですが、中には保護者の方がお迎えに来られたりして、車を置く場所がないので路駐になるので、その辺もご検討いただきたいと思うんですがいかがでしょうか。

【市長】 よくご存知でいらっしゃって、議会で承認をいただきまして松山市内19カ所の児童クラブを広げるような過渡になりました。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課の西市です。よろしく申し上げます。ご質問ありがとうございます。児童クラブの整備についてですが、市長からもお話しましたように、この6月議会で市内の19カ所のクラブについて新しく増設していく方向で決議をいただきました。その中にはこの

浮穴児童クラブも含まれております。入会児童者数が68名の方で1人当たりの面積が1.67平米と狭い状態になっておりますので、これを学校の敷地の中に施設を新しく建てて、今後は小学校6年生までの待機ができる部分を拡大していきたい方向ではあるんです。ただ、ご質問の中にありましたように、施設の設置場所については皆さんの要望と学校の維持管理をしていく上での協議が必要となっていきますので、ご要望がありました内容については持ち帰らせていただいて、検討していきたいと思っておりますので、もしご要望が叶わなければ学校との調整の中でというお話ですのでご理解いただければと思います。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

【市長】 この放課後児童クラブも色んな総合的なところで判断しながらやってきたところで、できれば子どもの安全性を考えたら学校内でできるのが一番いいわけですね。できたら空き教室があれば空き教室も活用したいのですが、空き教室もとことん突き詰めて話もしましたし、学校の中の校舎以外のスペースでどこがあるというのも難しいなど考えながらやってきたところなんです。今のご要望を受けてもう1回検証させていただいたらと思います。

【小学生】 僕は浮穴小学校6年です。1年前くらいに浮穴小学校の通学路の歩行者のところの白線が広がったんですけど、ところによっては白線が狭いところがあるので広くしてほしいです。

【市長】 浮穴小学校の皆さんが来られているので感謝をしないといけませんが、浮穴12号線だったと思います。私、平成24年にスクールミーティングをやっている中で、子どもたちのコミュニケーション能力ってものすごく下がっているんです。子どもたちが子どもたちだけで遊ぶケースが少なくなっているのですが、自分はこの遊びをしたいとか遊びがぶつかると工夫をするとか我慢するとか協調するというので子どもたちはコミュニケーション能力を鍛えているんです。今の子どもたちはコミュニケーション能力が下がっているんで、私が出向かせていただいて、各小学校でコミュニケーション能力を上げる取り組みをさせていただいて、浮穴小学校に来たときに「市長さん、あそこの道路が水路があって狭くて怖いんです。」という話をいただいて、水路は大体農業されている方が使っているんで溝にごみが溜まると困るので、蓋はしたくないというご意見が一般的ですが、地区の方にご理解をいただき水路に蓋をさせていただいて道を広げることができました。あれは浮穴小学校の皆さんが声を上げてくれたからです。感謝を申し上げたいと思います。白線の場所は帰りに地図を持ってきているので言ってもらったらと思います。

【小学生】 浮穴小学校6年生です。浮穴小学校前の信号や地下道近くの交差点の信号の時間が、待つ時間よりも渡る時間のほうが短いので、もうちょっと長くしてもらいたいと思います。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見いただきましてありがとうございます。信号とか交通規制にかかわる問題は南警察署の所管になります。私から警察にお話をさせていただきましても、基本的には規制にかかわるものですから、地域の方の皆さん全体のご意見として警察に申し出ていただくことになろうかと思っておりますけれども、とりあえずは今日のタウンミーティングでのご意見をお伝えさせていただきますので、回答がありましたら連絡をさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

【市長】 愛媛県警の松山南署になりますけれども、必ず伝えておきます。これまでのタウンミーティングでもそういう声があったので、必ず伝えてありますし、1カ月後の意見対応表で警察からの回答が聞けると思っております。警察は信号機を設置するときに交通量を調べて何秒と決めているそうです。歩行者の時間が長くなると車が止まる時間が長くなるから、心配は渋滞が起りやすいのが警察の考えるところです。でも、交通事情が変わってくることもあるので、再調査してもらって信号の時間を変えることもできるかもしれません。必ず警察には伝えておきます。ありがとうございました。

【女性】 私、子どもが小学生と中学生ですけれども、私らが子どものときは、ウォータークーラーのようなものがあって、気軽にお茶がなくなったら学校でお水とか飲んでいたんですけど、この暑いのにお茶をすごくたくさん持っていかしてもなくなってしまってお茶が飲めなかったとか、それで学校の水道の水は飲んではいけないし、飲む水がないんですね。お茶がないまま1日を過ごしたりすることがあるので、そればかりに頼るのもいけないんですけど、何か子どもが飲めるものがあるといいなと思うんです。

【生涯学習政策課長】 ご質問ありがとうございます。教育委員会津田でございます。ウォータークーラーの件ですが、以前に担当課へ確認をしたんですけども、衛生面の問題があって小学校や中学校からは除去している状態にあるということでございます。この数年ずっと暑い時期が続いていまして、扇風機等の対応は各小中学校でしているんですけども、当然のことながら暑さしのぎ、水分補給は欠かしてもらいたくないので、お茶を多めに持ってきてくださいとか、どうしても困難な場合には経口飲料水を保健室に幾分か用意をしておると聞いておりますので、各クラスにウォータークーラーという状況には、置けないとご理解していただければと思ひ

ます。すみません。

【市長】 何か考えていい方法ができないものかと思いますね。私も高校生と中学生の子どもがいるものですから、やっぱり現実に子どもがよく飲みます。運動部に所属していたらよく飲みます。重いのを持って学校に行く現状がありますけれども、早く飲んでしまっただのどが渴いている子もいるかもしれません。知恵と工夫で何かできることはないかなと感じたところです。先ほどの浮穴12号線のことについて、きちんとお話をします。浮穴小学校の通学路である市道浮穴12号線は道に沿って南側に水路があつて道幅が狭く車両の通行も多いので、地元から道路整備と浸水対策の要望書が提出されました。一昨年の11月から浮穴小学校のスクールミーティングで子どもたちから言ってもらって、2年前の11月から延長270メートルの道路整備工事と130メートルの排水路の改良工事を行って、去年の6月に完成しました。さらに車の運転者に対して通行中の子どもたちや歩行者への注意喚起を図るために、地元の方や保護者の方と協議を行って、南側の白線に沿ってグリーンベルトを幅30センチ引かせていただきました。皆さんから声をいただいて、危ないところは改良していきたいと思います。一昨年の夏休みに通学路の一斉点検をさせていただいて、各小学校の通学路にこういう危険なところがありました、こういう対策を取らせていただきましたと松山市役所のホームページで全部公開していますので、危ないところは1つでも早く改良していきたいと思っています。

【女性】 市民大清掃のことでお伺いします。今年は雨で中止になりました。うちは団地ですけども順延をしました。年に1回なので市も順延は難しいんでしょうか。というのも高速道路の入口がすごく草が生えていて、あそこは色んな方が通られるのでできればあそこだけでもきれいにさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。環境と犯罪は、すごく密接だというのを色んなところでお伺いしますので、よろしくお願いします。

【環境部長】 環境部長の大野と申します。いつも大変お世話になっております。今回、市民大清掃を中止にさせていただきましたのは、5時の段階でかなりの雨が予測されていまして中止になったんですけれども、順延は考えておりません。ただ、ごみのあるところにつきましては、地域の方でボランティアで清掃をしていただいたら、事前に清掃課と相談させていただいて、ごみの袋を配ったり、収集したものを取りに行くことは市でさせていただきたいと思っておりますので、場所や、いつやるかをお伝えいただければ、相談させていただいて、ごみの収集はさせていただきたいと思っております。ただ、市がごみを清掃に行くことは、今のところ考

えておりませんので、その辺はご理解いただければと思っております。

【女性】 高速道路の入り口の草も地元のボランティアでしないといけないのでしょうか。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。高速道路の入り口は管轄が国土交通省になると思うんです。国道から入って緑地帯のところになると思いますので、私から国に話をして管理者が清掃するべきものであると考えております。

【市長】 最近の天気予報は、よく当たりますね。インターネットを見ると大体何時から何時に雨雲が来てとかがわかって、弱い雨だったら緑色ぐらいなんですけど、強い雨だったら赤の表示になったり。市民大清掃をしていただくと我々としても皆さん各地で動いてくれてありがたいので、できたらやりたかったんですけども、あのときは雷が鳴る予報もあり、皆様が雷に打たれることがあってはいけませんので、やむなく中止をさせていただきました。中には、当日の公務でお会いした方が、「市長さん、中止と言われたときは、私ら起きるのが早いので、公民館の木を剪定することになっていたのもう私ら済んでいましたよ。」と言われる方がいらっしやって、そうやってする方もいらっしやったんだと思ったんですが、あのときは雷の危険があったので中止をやむなくさせていただいたということです。高速道路の入り口のところは、おそらく国で刈っていただくことになると思いますので、私たちから伝えておきます。

【中学生】 南第二中学校です。今日来ている南第二中学生は生徒会なのですが、生徒会の活動と並行して放送の活動もさせていただいています。放送器具についてですが、最近トラブルが多くて放送が止まったり、スピーカーから音が出なくなったりするのですが、それをどうにかしていただけないでしょうか。今年度から生徒会は1つほかの活動を行ってみようと思って、放送活動を活発にしようといろいろ行っているのですが、それも頭に入れてもらってお願いします。

【市長】 これは学校の先生から教育委員会の学習施設課に声が上がってくる案件だと思いますが、先生方が遠慮して声を上げてきてないんですかね。上がってきていますよね。

【生涯学習政策課長】 今の段階では私のところには届いていないんですけども、今、市長が申しましたとおり不具合があった場合には学校長ないしは教頭から学習施設課に連絡がありまして、改修・整備等のかたちが取れると思います。どの部分のスピーカーの調子が悪いのか、改めて教えていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

【小学生】 浮穴小学校の6年です。公園に自転車で遊びに行くのですが、

自転車が公園にいっぱいあって置けなかったり、遊びにくかったりするの
で、公園に駐輪場をつくってほしいなと思いました。

【市長】 どここの公園になりますか。場所か公園の名前わかる。

【小学生】 本村公園と三島公園です。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見いただきましてありがとうございます。
公園の駐輪場については色んな地区からご要望があります。立派なものはできませんけれども簡単な範囲を決めて、そこに看板を設置する
とか簡易なものでしたらすぐにできますので、持ち帰らせていただいて
検討させていただいたらと思います。

【市長】 雨の日はあまり遊びに来ないでしょうから屋根は要らなくて、
下の整備ですね。本村公園がどれくらいのスペースがあるのかわからない
んですが、自転車置き場ができるとスペースは少なくなるけどそれは構わ
ないですか。

【小学生】 それは、大丈夫です。

【市長】 スペースを見させてもらったらと思います。今日は、子どもさ
んよく手を挙げてくださっていますが、ほかの地区のタウンミーティング
でも公園に自転車置き場をつくってくださいと意見があったんです。土の
ところに自転車を置くと倒れるんですという声があって、将来の浮穴、松
山、愛媛、日本を背負って立つ子どもたちですから、子どもたちの意見も
大事にしたいと思います。実は、松山市では子ども目線の交通安全マップ
づくりをやりまして、金沢に三国さんという60歳くらいの女性ですが、
全国に知られた交通安全マップづくりの権威の方です。私、金沢に勉強に
行かせていただいたときにお話を聞かせていただきました。大体、交通安
全マップづくりは家族に地図を1枚渡しちゃうんです。あと、大人の意見
に子どもの意見がかき消されてしまうんです。でも、大人の目線と子ども
の目線は違います。大人は塀から顔が出て見えていても、子どもは塀から
顔が出ていなくて実に危ないということがあるので、子ども1人に1枚必
ず地図を渡してくださいという方法で子ども目線の交通安全マップをつ
くらせていただいて、全小学校でできました。もちろん浮穴小学校でもで
きていますけども、子どもの意見も大事な意見なので、今日はたくさん手
を挙げていただいてありがたいと思っています。

【小学生】 浮穴小学校です。市長さん先ほど言われたけど、公園にごみ
箱が三島公園にないんだけど、よく近くで買ったものをポイ捨てしてその
ままの人がいて嫌な思いになるので、公園にごみ箱を置いてほしいです。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございます。先ほ
ど市長からお話がありましたように、公園のごみ箱については色んな考え

方がありまして、この地区では本村公園はごみ箱があると思いますけれども、三島公園はごみ箱を置いていません。昨日見てきたんですけれども、ごみは持ち帰りましょうという看板をかなりの枚数を掲げていますけれども、それが消えかかって見えにくい状況でした。また、公園を管理していただいております管理協力会の方とも相談して、どういうやり方がいいか検討をさせていただいたらと思います。昨日見に行った限りでは、三島公園は非常にきれいでした。ごみはほとんど落ちていなかった状況です。また、いろいろなご意見教えていただいたらと思います。ありがとうございました。

【市長】 今日90分間長い時間ではありましたが、たくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。やはり皆さんの声の集合体が行政だと思っています。予算の話させていただいて皆さんの手が挙がらなくなるといけないなと思ったんですが、皆さんからご意見をいただくことによって事業の優先順位をつけることができます。ただちに組みまないと後手に回ってしまって遅れてしまう。皆さんの声をいただくことが大事だと思っておりますので、このようなタウンミーティングを重ねさせていただいております。今回も皆さんからいただいた意見は、1カ月を目途に市としてはこのように考えますというのを返させていただきます。それで終わりじゃなくて、こういう返事が返ってきたけども、私らはこう思うんやけどなというキャッチボールを常にやっていければと思っています。浮穴をまたよりよく、そしてその集合体である松山市をまたよりいいまちにしていきたいと思っておりますので、皆さんのご協力をよろしく願います。今日は時間がなくて話ができなかったという方は、市長へのメール制度もありますので遠慮なく言っていただいたらと思います。我々、3時半ですぐ帰るわけではありませぬので、地図を持ってきておりますので道路とか溝とか危険と感ずるところとか崩れそうになっている空き家とかございましたら、遠慮なく言っていただいたらと思います。今日は長時間にわたりまして誠にありがとうございました。

— 了 —